



鉄入れ式

## 広島呉道路(クリアライン)坂北IC～呉IC 4車線化事業の着工式を開催

広島呉道路(クリアライン)坂北IC～呉IC4車線化事業が今後本格着工の運びとなり、令和3年7月18日(日)、呉ポートピアパークにおいて着工式を開催しました。コロナ禍ではありますが万全な対策を行い、地元関係者を含め約100名の方々にご出席いただき、主催者であるNEXCO西日本 代表取締役社長 前川秀和の挨拶に引き続き、県知事や国会議員、呉市長、坂町長、国土交通省中国地方整備局長からご祝辞をいただきました。

その後、工事の安全と一日も早い完成を祈念して鉄入れを行いました。



広島工事事務所長による工事計画の説明や、事業に関する概要資料の展示を行い、出席者の皆様に4車線化事業について理解を深めていただきました。



坂町長  
吉田 隆行

### <坂町長 着工式ご挨拶>

令和元年9月からの全線に渡っての調査・設計に始まり、この度、いよいよ4車線化工事への着手ということで、沿線自治体として大変感謝しています。

広島呉道路4車線化への期待は、坂町においても大きく、本年度第4/四半期には「坂工事」の工事も開始される予定と伺っており、併せて計画している(仮称)町道植田水尻側道線の整備についても、本格的に進められるものと期待しております。

4車線化は、強靱化はもとより、生産性向上による沿線の経済活性化、交流人口の拡大による観光振興等、様々な効果があると認識しています。

今後も引き続き、広島呉道路全線の早期完成、供用に向け、地域一体となって事業促進に取り組みますので、よろしくお祈りいたします。

工事の安全と早期完成をお祈りいたします。



坂うめじろう



呉市長  
新原 芳明

### <呉市長 着工式ご挨拶>

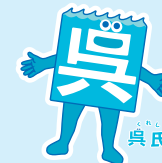
平成30年7月、クリアラインは、国道31号・JR呉線とともに大雨で一挙に崩壊し、いかに大事な道路であるか痛感した次第です。

こうした中、4車線化を早期に事業化していただき、災害に対する強靱化と呉のこれからの経済・観光・生活に大きな役割を果たすものと心から期待しております。

本年5月には呉トンネル工事が受注され、こうして着工式が開催されるにあたり、NEXCO西日本並びに国土交通省、地権者の皆様、地元関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

呉市役所もプロジェクトチームを作り、NEXCO西日本と一体となって事業進捗を図っていきたく思っております。

工事の安全と早期完成をお祈りいたします。



## 広報ルーム“クリアプラザ”の誕生

@呉ポートピアパーク内

令和3年7月16日(金)、広島呉道路4車線化事業の広報ルーム“クリアプラザ”を開室いたしました。

名称は広島呉道路の愛称“クリアライン”のワードを残しつつ、スペイン語で公共の広場を意味する“プラザ(plaza)”を合わせて“クリア”+“プラザ”という親しみやすいネーミングに決定いたしました。



クリアプラザでは、航空写真や4車線化事業による整備効果、工事内容、クリアラインの歴史について展示しております。

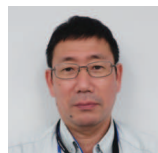
これから、関係行政、工事関係者などと協力し、クリアプラザの充実化を図ってまいりたいと考えております。



まるごと広島呉道路、いまと未来にふれる！  
見て、知って、体験！  
クリアプラザ

## 受注者紹介

### 呉トンネル工事【株式会社フジタ】



現場代理人  
山口 耕二



監理技術者  
中島 耕平



工務主任  
尾花 実

本工事は呉市松葉町～呉市二河町間に位置し、呉トンネル2,376mを含む総延長3,249mの工事です。5月31日に契約し現在は着工に向け準備作業を進めています。

約6年と長期に渡る工事となりますが、安心・安全を基本姿勢に周辺環境に配慮した工事を進めてまいります。関係される皆様方のご理解とご協力を宜しくお祈り申し上げます。

## “クリアライン”愛称決定の由来について

平成8年7月25日、広島呉道路の愛称は「クリアライン」に決定しました。選定方法は広島呉道路開通記念行事実行委員会にて募集を行い、1528件の応募の中から、選定委員会では先行審査の上決定いたしました。命名者は、CREATION(クリエーション=創造)の「CRE」と「呉」をかけ、「豊かな夢や心の安らぎ、地域の繁栄を創造する道路」をイメージしたそうです。